

様式第 1 号(第 4 条関係)

※受付番号				※特定入居		条例第6条（公募の例外）該当		□有		□無		
市営住宅入居申込書												
安芸市長様												
申込者 氏名												
安芸市営住宅設置及び管理条例第9条第1項の規定により、次のとおり市営住宅への入居を申し込みます。												
なお、この記載内容が事実と相違するとき、私又は同居しようとする者が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であるときその他入居資格を欠くときは、入居の申込みを無効とされても異議を申し立てないことを誓約します。												
また、私及び同居しようとする者が暴力団員に該当するかどうかについて、安芸市長が高知県警察本部長に対して照会することに同意します。												
現住所		電話番号（ ） -										
入居希望 団 地		第1希望		□市営住宅 □改良住宅				団地		号棟 号室		
		第2希望		□市営住宅 □改良住宅				団地		号棟 号室		
		第3希望		□市営住宅 □改良住宅				団地		号棟 号室		
		第4希望		□市営住宅 □改良住宅				団地		号棟 号室		
		第5希望		□市営住宅 □改良住宅				団地		号棟 号室		
入居する者の現況	世帯又は入居する者の状況		□高齢者世帯（60歳以上のいる夫婦のみ・60歳以上のみ・60歳以上と18歳未満のみ） □身体障害者（1級・2級・3級・4級・5級以下） □精神障害者（1級・2級・3級） □知的障害者（A1・A2・B1・B2） □生活保護世帯 □20歳未満の子を扶養している母(父)子世帯 □中国残留邦人等 □18歳未満の子3人以上を扶養している □犯罪被害者 □DV被害者 □その他（ ）									
	続柄		氏名		生年月日		性別	職業		平均月収額		摘要
	1	申込者本人			年 月 日							
	2				年 月 日							
	3				年 月 日							
	4				年 月 日							
	5				年 月 日							
	6				年 月 日							
別居している所得税法上の扶養親族		続柄	氏名			生年月日			摘要			

住宅に困窮している状況及び住宅を必要としている理由	現在居住している住宅の状況	住宅の持主	☐ 自己所有 ☐ 親族所有 ☐ 共同所有 ☐ 他人所有		種別	☐ 戸建て ☐ アパート ☐ その他	住宅の構造	☐ 木造 ☐ 非木造		
		貸主及び家賃	氏名				住所			
			家賃月額 (光熱水費を除く。)				円	敷金	家賃の カ月分	
		居室数	畳室・畳室・畳室 LDK 畳 DK 畳 その他 ()							
		住宅の設備	水道	☐ 専用 ☐ 共用	炊事場	☐ 専用 ☐ 共用	便所	☐ 専用 ☐ 共用	風呂	☐ 専用 ☐ 無 ☐ 共用
		住宅の使用形態	☐ 独立居住 (一戸の家又はアパートに申込者の世帯のみで住んでいる。) ☐ 同居 (他世帯とともに一戸の家又はアパートに住んでいる。) ☐ 間借り (他世帯の家又はアパートの一室又は数部屋を借りて住んでいる。)							
住宅に困窮している理由 (複数可)	☐ 1 住宅以外の建物又は場所に居住している。 ☐ 2 保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 ☐ 3 他の世帯と同居し、著しく生活上不便を受けている。 ☐ 4 住宅がないため、親族と同居することができない。 ☐ 5 住宅が狭く、世帯人員が多過ぎて過密居住である。 ☐ 6 間取りと世帯構成との関係から衛生上有害又は風致上不適当な状況である。 ☐ 7 正当な理由による立ち退き(裁判所の判決・官公署からの命令その他)の要求を受けて、立ち退き先がない。 ☐ 8 住宅がないため、勤務場所から著しく遠い所に居住している。 (自宅から勤務先までの片道所要時間 時間 分) ☐ 9 収入に比べて著しく高い家賃を支払っている。 ☐ 10 住宅がないため、結婚することができない。 ☐ 11 その他住宅に困っている。									
	住宅に困窮している理由の詳細	(できるだけ具体的に記入してください)								

- 注 1 市営住宅入居者募集案内をよく読んだうえで記入してください。
- 2 この申込書は、ボールペンで正確に読みやすく記入してください。
- 3 該当する欄に記入し、□枠の該当箇所には✓印を入れるか黒く塗りつぶしてください。
(※欄は、記入しないでください。)
- 4 「別居している所得税法上の扶養親族」欄の「摘要」は、所得税法上の老人、寡婦、寡夫、障害者、特別障害者、特定扶養等を記載してください。
- 5 別紙の「現住宅の平面図」欄は、現在居住している住宅の間取り(台所・押入・便所・窓・壁等)を記載し、アパートの場合は世帯の専用部分のみを記載してください。

別 紙

現住所付近の見取図

北
4
+

現住宅の平面図

(記載例)

